

1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面	弱	普通	強	指数
思索型	内閉性 : 社交意識が低い				48
	客観性 : 思考的思慮深い				47
活動型	身体性 : 機敏な・気軽な				46
	気分性 : 感情のまま行動				47
努力型	持続性 : 几帳面・忍耐力				53
	規則性 : 常識的・順法的				44
積極型	競争性 : 勝気な・積極的				32
	自尊心 : 気ぐらいが高い				53
自制型	慎重性 : 見通しをつける				47
	弱気さ : 取越苦労・遠慮				28

■この人の中心性格は「努力・持続性」および「積極・自尊心」であるが、「思索・内閉性」や「思索・客観性」といった側面も本人は意識している。

●「努力・持続性」及び「積極・自尊心」の人のパーソナリティスケッチ
生活ぶりもキチンとしていて、気に入った物事は情熱をこめ、丹念に取り組んでいこうとする。手掛けた事は途中で投げ出すことなく、忍耐強くやりぬく人といえる。時にしつこいと思われるほどの徹底性がみられる。一般的にいわれる価値観や道徳観が判断の基準となり、常識的に考え行動することを信条としているためか、世間から逸脱した行動をとることはあまりない。そのためか、やや柔軟性や斬新さに欠けることがあるが、大きな失敗は少ないといえ、手堅さは評価できる。しかし、何かを決定しなくてはならない重要な場面では、自分の考えを進んで提案し、周囲を驚かせることもある。また、勝気であるといえるが、人に負けたくないという剥き出しの競争心はなく、他人とは協調していこうとする面も認められる。内面的には感受性が強く、感激などの喜怒哀楽を素直に出すときもあるが、その反面、何があっても動じない、冷静な部分もある。また、他人から評価されることに、最高の満足感を得て、自尊心を満たすことを喜びと感じている。

●もう一方の性格特性
精神的には安定していて、不安症・劣等感といった神経症とは現在は縁がない。表面的にもオドオドしたり、イライラした感じは見られず、行動や発言にはしかるべき自分なりの理由をもっている。暗い影のようなのがなく、明るい。

2 どういう関心事・興味領域を持っているか

興味の方向性	弱	普通	強	指数	
日常周辺事型				29	俗世間的な事に興味が無い。しきたりなどは気にしない。
客観・科学型				50	
社会・経済型				46	
心理・情緒型				49	
審美・芸術型				62	芸術的関心が高く、世界を美的観点でとらえようとする。

信頼係数



回答の正確さにやや欠けているが、全く信頼できないというほどの診断結果ではない。

3 基礎的な職場場面での社会性

診断項目	弱	普通	強	指数
積極性				49
協調性				48
責任感				51
自己信頼性				63
指導性				44
共感性				55
感情安定性				61
従順性				55
自主性				36
モロトリアム傾向				33

自信があるため、大きな目的をクリアーすることもある。
皆の意見や考えを大切にし、協同作業などは熱心である。
比較的気持ちが安定していて、多少の事では動揺しない。
人の意見や指導などは、素直に聞き入れることができる。
自発的に行動するより、指示を待って動くことがおおい。
今の環境や生活、生き方などに自信をもち安定している。

4 どういうことに意欲・ヤル気をだすか

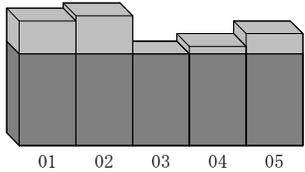
意欲の側面	弱	普通	強	指数
達成 欲求				39
親和 欲求				44
求知 欲求				36
顕示 欲求				33
秩序 欲求				44
物質的欲望				47
危機 耐性				65
自律 欲求				46
支配 欲求				41
勤労 意欲				44

苦勞がともなうのなら、目標を獲得しようとおもわない。
珍しい事や新しい事よりも、安定した生活環境にいたい。
自分で目立つ行動をするより、後方で静かにしていきたい。
全面的な自我崩落にならない、危機対応力を備えている。

■この人は「苦勞を乗り越え、成長したい」系統の欲求群が一番強く、ついで「増やしたい、減らしたくない」系統の欲求群となっている。逆に「人より優位に立ちたい」系統の欲求群には淡泊な反応である。

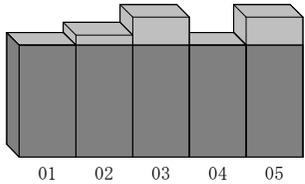
【仕事に立ち向かう姿勢】

- 0 1 : 積極性
- 0 2 : 責任感
- 0 3 : 自主性
- 0 4 : 達成意欲
- 0 5 : 勤労意欲



【組織だって仕事を進める能力】

- 0 1 : 指導性
- 0 2 : 協調性
- 0 3 : 共感性
- 0 4 : 親和性
- 0 5 : 従順性



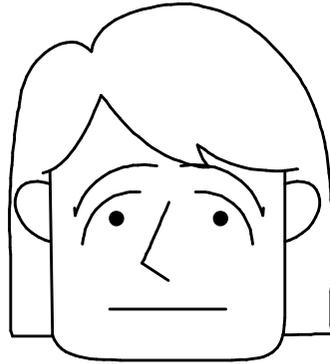
【心理要素イメージ】

眉の太さ：指導性
 瞳の直径：達成欲求
 鼻の高さ：顕示欲求
 顔の輪郭：性格類型

眉の傾き：従順性
 目の傾き：達成欲求+求知欲求
 口の形状：親和欲求+協調性

逆三角顔 = 思索型
 エラ顔 = 積極型
 細長顔 = 自制型

丸顔 = 活動型
 角顔 = 努力型



【判定結果A】予測推定値（見所）

(1) 一般的職場状況での可能性	■	45
(2) 海外など精神力の必要な職務	■	35
(3) 足腰のよさが武器になる職務	■	34
(4) 集中力、緻密さの必要な職務	■	45
(5) 標準化された仕事や工場労働	■	45

【判定結果B】当人の傾向



【判定結果C】大まかな職業興味領域とその方向性

- (1) 「小適」音楽、創作、文芸など芸術的な仕事や活動
- (2) 「努力」規則や慣習に従った行動、事務的な仕事
- (3) 「努力」物を対象とする、具体的で実際的な仕事
- (4) 「努力」営業など対人的接触をとまう仕事
- (5) 「努力」研究的、探索的な仕事や活動の領域
- (6) 「努力」企画、組織の運営、経営管理のような仕事

【判定結果D】配置適性 1

《適性の高い順》

- (1) 「適度」基礎研究者
- (2) 「小適」基礎研究管理者
- (3) 「小適」研究開発者
- (4) 「小適」営繕専任者
- (5) 「努力」営業専任者
- (6) 「努力」秘書専任者

《低い順》

- (1) 「努力」企画管理者
- (2) 「努力」広報管理者
- (3) 「努力」企画専任者
- (4) 「努力」広報専任者
- (5) 「努力」営業管理者

【判定結果E】配置適性 2

- (1) 「適度」庶務
- (2) 「適度」基礎研究
- (3) 「適度」物流
- (4) 「小適」総務
- (5) 「小適」購買
- (6) 「小適」秘書

- (1) 「努力」調査分析
- (2) 「努力」教育研修
- (3) 「努力」経営企画
- (4) 「努力」商品企画・開発
- (5) 「努力」顧客開発

